

# 【農林水産物・食品の広報】日本産食品及び酒類普及イベント(インド)

在インド大使館

開催日: 令和5年11月4日

場 所: 在インド日本国大使館(ニューデリー)

主催(共催): 大使館、印観光省、農林水産省、観光庁、JNTO

協力/参加企業・自治体: 日本企業15社

## 【概要】

- 11月3日から5日にかけてニューデリー市内で開催された「World Food India」に合わせ、両国間の人脈強化、日本産海産物等をはじめとする日本食・日本産酒類の認知度向上を目的に食イベントを開催。
- 当日はインド政府関係者や現地のインフルエンサーなど約100人が来場し、当地日系インポーターの協力を得て、北海道産ホタテを提供したほか、インドに進出している日系食品・飲料メーカーや日本食レストラン等、15社がブース出展。
- 本イベントは「日印観光交流年」の一環としても位置づけており、印観光省国際課長が出席し冒頭挨拶にて、日印観光交流促進における『食』というツールの重要性について言及。
- インフルエンサーについては、数10万フォロワーを抱えるインフルエンサーの参加も得られ、多くのフォロワーに日本食や日本産酒類を認知してもらった機会を得た。また、日本だけでなく、当地でも本イベントに関する記事が掲載された。



インフルエンサーによる投稿

時事ドットコムニュース > 国際 > 北海道産ホタテ食べて インドで日本食イベント、安全性訴え

X f B! コメント 小 中 大

北海道産ホタテ食べて インドで日本食イベント、安全性訴え

2023年11月05日 20時32分



インドの首都ニューデリーで開催された日本食イベントで、鈴木浩樹印大使(右)らに北海道産のホタテを贈る髙橋一弥さん(左) = 4日

【ニューデリー時事】インドの首都ニューデリーで4日、北海道産ホタテなど日本の食の魅力をアピールするイベントが開かれた。中国が東京電力福島第1原発の処理水海洋放出に反発して日本産水産物の輸入を禁じたことを受け、その安全性やおいしさを伝えるのが主な目的。

日本、処理水の安全性強調 中韓「汚染水」と表現—3カ国環境増進会合

在インド日本大使館が主催し、大使館内にインドのホテルや食品業界の関係者らを招待。現地で日本食材の輸入卸売会社を運営する髙橋一弥さん(44)がブースでホタテのバターしょうゆ焼きや刺身を振る舞った。

現地報道

